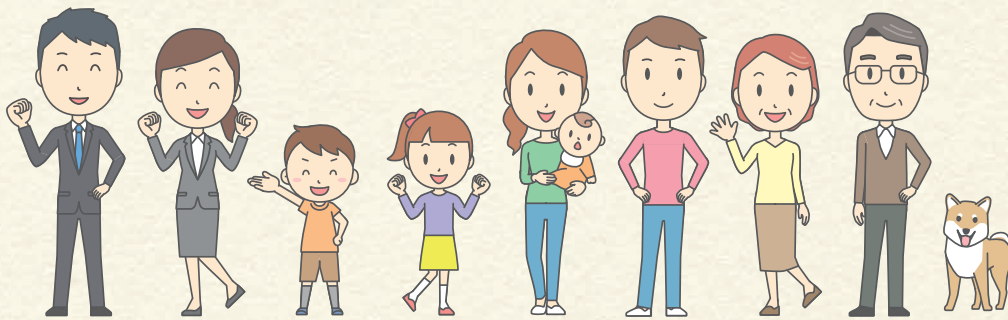


男女共同参画の 視点で伝える 表現ガイド(案)



よりよい表現、よりそう杉並

だれもが共に認め支えあい いきいきと輝けるまちをめざして

1 はじめに

男女共同参画社会の実現を目指していくうえで、家庭や職場、地域における固定的な性別役割分担意識の解消が大きな課題となっていますが、実は、こうした意識は区から発信される表現の中にも存在しています。一見、「この程度の表現なら問題ないだろう」と思える表現でも、繰り返し提供されることで、少なからず区民の意識形成に潜在的影響を及ぼすのです。こうした固定概念や偏見の助長をなくすためには、情報の発信者である職員一人ひとりの意識がとても重要です。

男女共同参画担当では、「杉並区男女共同参画行動計画 平成 30～33 年度(2018～2021 年度)」に基づき、区が行う広報活動等において、固定的な性別役割分担意識を助長することのないよう、男女共同参画の視点からより望ましい表現を推進することを目的として、「男女共同参画の視点で伝える表現ガイド」を作成しました。

本ガイドをさまざまな場面で有効活用していただき、今後の情報発信に際して、より豊かで公平な表現を創り出すための参考になれば幸いです。

最後に、本ガイドの作成にご協力いただきました杉並区男女共同参画推進区民懇談会委員及び杉並区男女共同参画推進会議幹事のみなさまに感謝申し上げます。

区民生活部管理課男女共同参画担当

2 表現ガイドの使い方

i 使い方

男女共同参画の視点から、気をつけていただきたいポイントを5つにまとめ、具体例をイラストなどで示しています。具体例は、特定の表現を絶対に禁止するものではありませんし、好ましい表現は一つではありません。職員のみなさんが、どのような表現がなぜ問題なのか、どのように配慮すればよいのかなどについて、少し考える一つのきっかけとしていただくためのものです。

対象

表現ガイドの対象は、「区が発信するすべての情報」です。広報やホームページ、白書や報告書、ポスター、リーフレット、チラシや報道発表資料だけでなく、電話や窓口対応、会議での説明なども含まれます。

区政の全般にわたる幅広い範囲において、発信する情報の表現を確認する際にご活用ください。

CONTENTS

1	はじめに	1
2	表現ガイドの使い方	1
3	考えてみよう その表現	2
1	男女どちらかに偏った表現になっていませんか?	2
2	必要以上に女性と男性を区別していませんか?	3
3	男女間が優劣・上下の関係になっていませんか?	4
4	性別によって役割を固定化していませんか?	5
5	女性をアイキャッチャーとして使っていませんか?	7
4	表現を工夫してみよう	8
5	チェックシート	9
6	FAQ(よくある質問)	10

Memo

●男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。

(男女共同参画社会基本法第2条)

●固定的な性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として役割を固定的に分けること。「男は仕事、女は家庭」「男性は主要な業務、女性は補助的業務」などは、固定的な考え方により男性・女性の役割を決めている例。

(内閣府男女共同参画局HP男女共同参画関係用語集)

1 男女どちらかに偏った表現 になっていませんか？

伝えたい情報がすべての人を対象としている場合は、登場する男女のバランスを考え、どちらかに偏ったり排除したりしないようにしましょう。どちらかに偏ったり排除したりしている表現は、伝えたい内容の対象が男性または女性に限定したものであると誤解されるおそれがあります。

男性だけが描かれているけど、対象は男性のみ？

第二次〇〇プラン
区民説明会のご案内



△年□月〇日(土)
午後7時開始 〇〇地域センター
杉並区



第二次〇〇プラン
区民説明会のご案内



△年□月〇日(土)
午後7時開始 〇〇地域センター
杉並区

すべての人が参加できます

採用は男性だけ？

〇〇年度
採用案内



杉並区



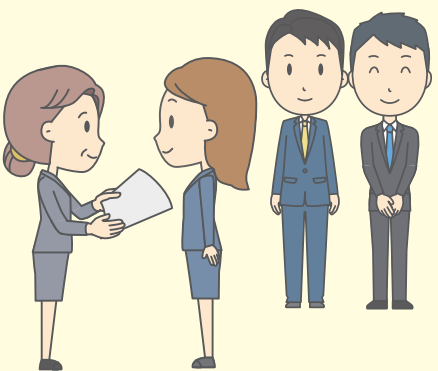
〇〇年度
採用案内



杉並区

男女ともに採用します

表彰の対象は男性だけ？



男性も女性も対象です

2 必要以上に女性と男性を区別していませんか？

興味や関心、性格や行動は、性別によって決まるものではありません。必要以上に男女を区別して表現することは、個人の可能性を限定することにもなります。一人ひとりに個性があり、それぞれが異なることを考慮し、不必要に男女を区別した表現は避けるようにしましょう。

男性は理系で、女性は文系？

理系 文系



興味や進路はいろいろです

理系 文系

性別で遊びが決まる？



好みは人それぞれです

性別で食べ物の好みが決まる？



みんなひとりひとり違います

いつも男子は寒色系で、女子は暖色系？



好みの色は性別で決まりません

3 男女間が優劣・上下の関係 になっていませんか？

いつも男性を指導的な立場、守る側として描いていませんか？ 女性を従属的な立場、守られる側として描いていませんか？

男女間に主従・上下・優劣・強弱の関係があるかのような印象を与える表現は避け、男女は対等で、地位や立場もさまざまであることを示す表現をしましょう。

上司は男性で、
部下は
いつも女性？

女性の管理職も
増えています

加害者は男性で、
被害者は
いつも女性？

被害にあうのに
性別は
関係ありません

教えるのは男性で、
教わるのは女性？

男女ともに教え、
教わります

世帯主は
いつも男性？

記入例		〇〇申請書
住 所	杉並区阿佐谷 1-15-1	
世帯主名	杉並 太郎	

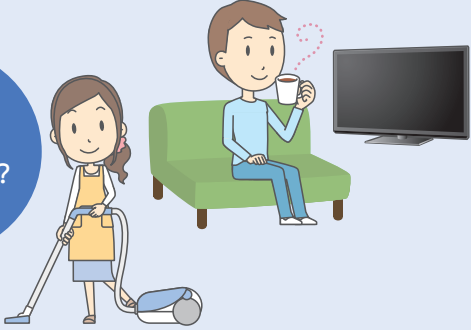
記入例		〇〇申請書
住 所	杉並区阿佐谷 1-15-1	
世帯主名	杉並 ○×	

女性が世帯主の
場合もあり、
工夫が必要です

4 性別によって役割を固定化していませんか？

家庭では？

家事は女性の役割？

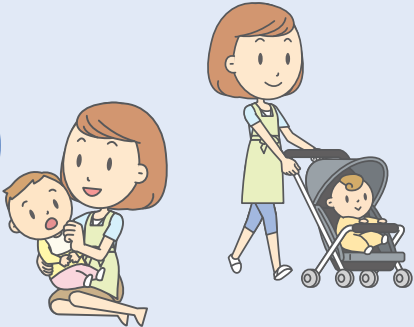


→

男性も女性も協力して家事をします



子育ては女性の役割？




→

男性も女性とともに子育てをします

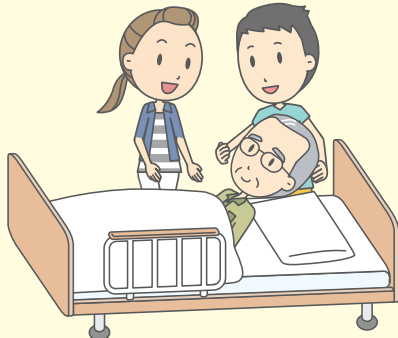


介護は女性の役割？



→

男性も女性も一緒に介護をします



地域では？

地域の活動は女性ばかり？



→

男性も地域の活動に参加します



男女をわかりやすく表現しようと、これまでの固定的な性別役割分担意識による表現や性別で職業を分けた表現などは避け、男女が仕事や家事・育児で協力したり、さまざまな職業に就いたりしている現実を表すような表現をしましょう。

職場では？

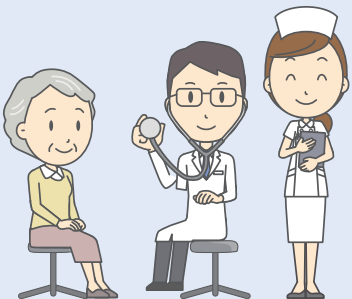
会議に参加するのは男性で、女性はその補助？




女性も会議に参加し、積極的に発言します



医師は男性で、看護師は女性？




女性の医師も、男性の看護師もいます



保育士は女性だけ？




男性の保育士も活躍しています

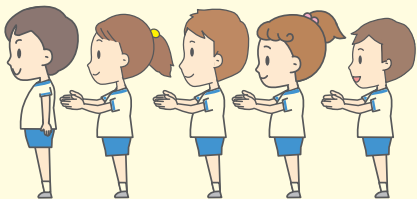


学校では？

男女を分け、男性が前で女性が後ろ？




いろいろな並び方があります



5 女性をアイキャッチャーとして使って いませんか？

伝えたい内容と関係がないのに、人目を引くために女性を起用したり、性的・外見的な側面を強調して表現したりすることは、本当に伝えたい内容が薄れ、女性を性的対象物として扱っている印象を与えてしまいます。女性を起用する場合には、内容との整合性が明確に説明できること、またその表現によって伝えたい内容が自然に伝わる必要があります。

伝えたい内容にふさわしい表現をするようにしましょう。

女性の水着姿で
目を引く？

〇〇公園プール
リニューアルオープン



杉並区



〇〇公園プール
リニューアルオープン



杉並区

本当に伝えたい
内容を考えましょう

女性の振袖姿で
目を引く？

〇〇年度
成人祝賀のつどい

〇〇年〇月〇日(土)
13:00~ 〇〇公会堂



杉並区



〇〇年度
成人祝賀のつどい

〇〇年〇月〇日(土)
13:00~ 〇〇公会堂



杉並区

成人式には
男女ともに
参加します

4 表現を工夫してみよう

何気なく使っている表現の中にも、男性を中心としてきた社会構造や男女の固定的役割分担意識が反映されたものが数多くあります。性別を強調する表現や対語のない表現などは避け、相手方に配慮した表現となるよう、少し工夫してみましょう。

見直したい表現	工夫した表現	見直しの理由	見直したい表現	工夫した表現	見直しの理由	
・主人 ・亭主 ・だんな	→ ・夫 ・配偶者 ・パートナー	男性「主」、 女性を「従」に 捉えた表現	・女社長	→ ・社長	女性のみ性別を 強調する表現 ※必要な場合のみ 「女性(の)」をつける。	
・奥さん ・家内	→ ・妻 ・配偶者 ・パートナー		・女医	→ ・医師		
・女房役 ・内助の功	→ ・補佐役 ・協力	女性は男性の 補助的な存在で ある印象を 与える表現	・女流作家	→ ・作家		
・嫁 ・嫁ぐ・嫁をもらう	→ ・息子の妻 ・結婚する	かつての家族 制度に基づいた 表現	・女子アナ	→ ・アナウンサー		
・舅(しゅうと) ・姑(しゅうとめ)	→ ・夫(妻)の父 ・夫(妻)の母		・女教師	→ ・教師		
・未亡人 ・後家	→ ×(使用しない)	女性に対する 言い方しかない 表現	・保母	→ ・保育士		法律上 改められた表現
・父兄	→ ・父母 ・保護者	男性優先または 男性に偏った 表現	・保健婦	→ ・保健師		
・兄弟	→ ・兄弟姉妹		・助産婦	→ ・助産師		
・サラリーマン	→ ・会社員		・看護婦	→ ・看護師		
・カメラマン	→ ・写真家 ・フォトグラファー	職業などを 性別で限定・ 区別する表現	・女(男)のくせに ・女々しい	→		個性を性別と 関連させて 捉える表現
・オンブズマン	→ ・オンブズパーソン		・男勝り	→ ×(使用しない)		
・営業マン	→ ・営業社員 ・営業職		・男泣き	→		
・(職場で) うちの女の子が～	→ ○○(個人名)が～	女性を低く見る 表現	・看板娘	→	女性を 鑑賞対象とした 表現	
			・職場の花	→ ×(使用しない)		
			・紅一点	→		

★情報発信の前にもう一度チェックしてみましょう

1	企画段階	チェック
1	伝えたい内容は何か？(制度・参加者募集など)	✓
2	伝えたい対象は誰ですか？(区民全体、特定の年代、世帯など)	✓



2	作成段階	チェック	
1	男女どちらかに偏った表現になっていませんか？	(すべての人を対象としている場合)男女の人数や登場回数がどちらかに偏っていませんか？	✓
2	必要以上に女性と男性を区別していませんか？	興味や関心、性格や行動を性別によって決めていませんか？	✓
3	男女間が優劣・上下の関係になっていませんか？	男性が指導者、女性が相談者など、優劣や上下の関係が男女で固定化されていませんか？	✓
4	性別によって役割を固定化していませんか？	仕事をしているのは男性、家事・育児・介護をしているのは女性になっていませんか？	✓
		職業で男女が固定化されていませんか？	✓
5	女性をアイキャッチャーとして使っていませんか？	伝えたい内容に関係なく、人目を引くために女性の姿や身体の一部、笑顔などを使用していませんか？	✓



3	最終段階	チェック
1	(外部業者に印刷物の作成を依頼する際)表現ガイドを示し、理解を求めましたか？	✓
2	男女双方の職員が目を通し、違和感のない表現になっていますか？	✓
3	男性と女性を入れ替えてみても、違和感のない表現になっていますか？	✓

Check

●性的少数者に関する表現について考えよう

一般的に「ホモ」「レズ」「オカマ」「ニューハーフ」「オナベ」「オネエ」などの表現は差別的に使われることが多く、当事者が不快に感じる場合があります。「ゲイ」「レズビアン」「トランスジェンダー」「性同一性障害」といった表現が望まれます。

また、異性間の恋愛を前提とする表現は、性的少数者に対する配慮に欠けたものと言えます。

「彼氏(彼女)」ではなく、「恋人(パートナー)」といった表現が望ましいでしょう。

6 FAQ(よくある質問)

何気なく使っている表現の中にも、男性を中心としてきた社会構造や男女の固定的役割分担意識が反映されたものが数多くあります。性別を強調する表現や対語のない表現などは避け、相手方に配慮した表現となるよう、少し工夫してみましょう。

Q1 イラストや言葉の表現なんて、大した問題じゃないのでは？

A イラストや言葉などの表現は、繰り返されることで少しずつ積み重なり、人々の意識に影響を与えています。この表現ガイドは男女共同参画の視点からご注意いただきたい例を掲げていますが、表現を直すこと自体を直接の目的とはしていません。男女共同参画社会を実現するために必要な、これまでとは違うものの見方に気づくための手段の一つだと考えています。

Q2 広報の効果が薄れてしまいませんか？

A この表現ガイドのねらいは、区の情報発信に男女共同参画の視点を入れるとともに、誤解の生じない効果的な表現をめざすものです。無理やり枠にはめて画一的な表現にするのではなく、多様なイメージを生み出すことで、情報の受け手となる区民といっそう豊かなコミュニケーションが図れるようにしようという一つの提案です。

Q3 表現を統制することになりませんか？

A この表現ガイドは、個々の表現の画一的な言い換えを強制するものではありません。その表現がなぜ問題なのか、どうすればより良い表現になるかを考えるための手がかりを提供するものです。職員のみなさんが携わる公的な情報発信に際しては、男女共同参画社会の実現に向けた表現に努めていただくよう、ご協力をお願いいたします。

Q4 男性と女性は必ず両方とも表現しないといけませんか？

A 必ず表現しないといけないとまでは言えませんが、情報発信の目的や提供する相手方によって考えてください。女性を対象にするもの、男性を対象にするものなど、その目的に沿った表現が必要です。常に男女を両方とも描き、同数にすればよいということではなく、伝えたい内容や目的に沿って、相手方に配慮した表現を基準に考えるなど、より効果的な表現についての工夫をお願いします。

Q5 昔からの文化や伝統を壊すことになりませんか？

A 男性だから、女性だからと単純に区別することができないほど、現代社会は多様化しています。男女間の差別や不平等につながる文化や伝統は、時代の変化にあわせて見直していくことも必要ではないでしょうか。

杉並区男女共同参画都市宣言

人は歴史を創り 人は未来を創る

思いやりの心をもとに

男女が 性別を超え 世代を超え

互いに個性や能力を尊重し

さまざまな分野に参画し

心豊かな 明日の世代へ夢をつなげ

平等と平和の輪を広げるため

杉並区は

ここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成9年12月1日



男女共同参画の視点で伝える表現ガイド

わたしらしくあなたらしくだれもが共に認め支えあい
いきいきと輝けるまち すぎなみをめざして

登録印刷番号

30-0000

平成30年12月発行

杉並区区民生活部管理課男女共同参画担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
TEL (03) 3312-2111 (大代表)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <http://www.city.suginami.tokyo.jp>